

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



ご挨拶



2020年1月頃世界中に拡散した新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら市中感染が続いております。

一方2021年7月には日本において、2度目の第32回オリンピック、9月には第16回パラリンピックが開催されました。コロナ禍の中で史上初めて延期された五輪は無観客で行われましたが、アスリートの皆様が静寂の中で素晴らしい力を発揮する様子には、前を向くことの大切さ、スポーツの力を感じました。

その間日本部会は感染予防対策を行いながら活動を続け、できる限りの事業を展開しております。そのエネルギーは100年前にインフルエンザウイルスが世界中に蔓延する中、奥村先生、Dr. Ottofyが国際歯科学士会を設立した当時と通じるものがあるのではないかと感じます。

創立者の基本理念を大切に、これからもお互いに協力して品位、品格を重んじ、かつ時代の変化、発展に順応しながら進んでまいりたいと思っております。

会員の皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

(一社)ICD日本部会 会長 隅田 百登子

歴代会長のことば



1986年の京都で開催されました総会で、櫻井善忠先生、一ッ子邦泰両先生の推薦により日本部会への入会の認証を受けました。時の会長は第14代佐藤貞勝先生（佐藤まゆみ先生の御父上）でした。温厚で親しみのある笑顔で私に認証状を手渡してくれましたのを今でも鮮明に記憶いたしております。

三大大事には必ず出席し、フェローの方々とのお付き合いの輪を広めながら時が流れて8年が経過し、会長が第18代菊池進先生になりました時に、初めて理事に就任いたしました。

その時の執行部には、今を時めく日本の歯科界の錚々たる先生方が名を連ねておりました。

河邊清治、東勇、森山徳長、天野恵、堀内實、長谷川正康、佐藤貞勝、太田寛等の各先生の懐かしい顔が思い出されます。

時には激しい叱責、時には慈悲に満ちた思い遣りのある励ましを受け、先輩諸氏の人間性に触れてまいりました。5期10年理事を務め終わり、第26代天野恵会長の就任と同時に副会長に就き、次の佐藤吉則会長の後に第28代会長として2年間会務を預かり、その後次の世代にバトンタッチをいたしました。

第28代会長 小林 菊生

2022年度 三大大事業 開催予定

第65回総会・認証式

2022年6月4日(土)
ホテルメトロポリタン
エドモント

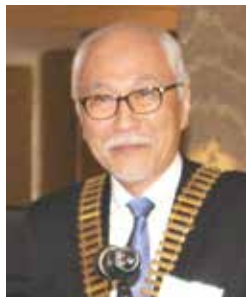
年末集会

2022年12月17日(土)
帝国ホテル(東京)

*皆様のご参加を
お待ちしております*

前国際会長・前国際理事挨拶

退任のご挨拶



私は'21年度国際理事会で、異例の2期を務めた国際会長を退きました。会長就任前からICD誕生の地、日本での100周年祝賀会開催に向け、皆様とともに数年にわたり努力しましたが、コロナ禍により、結局は中止となり、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

祝賀会開催は、私に課された最優先課題でしたが、他にも本部と部会間、部会間同士の交流を増し、“One Team”で全フェローが協働し、実働する体制づくりにも励みました。会長の世界各部会訪問も含め、いずれも“志半ば”となりましたが、逆にWeb利用会議が頻回に繰り返され、全世界のフェローの連携を、新たな形で維持・推進できました。コロナの功罪が

“合い混じった”結果です。

また'06年から長期に亘り務めた国際理事を、宮崎真至フェローに交代して頂きました。これまでのご厚誼に深く感謝申し上げます、宮崎新国際理事への倍旧のご支援をお願い申し上げます。

前国際会長・前日本部会国際理事 千田 彰

新国際理事挨拶

国際理事に就任して



この度、千田彰 前国際理事の後任として、大役を仰せつかりました。千田フェローからは、丁寧な引継ぎを頂戴し、2021年の国際理事会がZoomを用いた形式で開催されましたが、規定の変更などを含め、世界のICDを実質的に運営するために、極めて重要なポジションであると感じたものです。これ以外にも、すでに台湾と韓国を含めた3部会の交流についてもすすめる必要がありますし、ICDの中核的価値観としてのボランティアの取り組みについても検討することが必要と考えております。いずれにしても、日本部会 (Section VII, Japan) の国際理事として、各セクションとの交流を図るとともに、そのプレゼンスを示すことができるように努力する所存です。

まだまだ、国際理事としての役割についての情報と理解が不足しているところはありますが、必要な情報を収集するとともに皆様のご支援を受けつつ、日本部会発展のために貢献できればと考えております。今後とも、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

日本部会国際理事 宮崎 真至

◎ 総会・認証式

2021年度総会・認証式は2021年6月5日(土)にホテルメトロポリタン エドモントにて行われました。新型コロナウイルス感染予防の観点からZoomを使用したハイブリッド形式で行い、マスク着用やソーシャルディスタンスなどに十分配慮し、粛々と挙行されました。

総会の隅田会長挨拶では、例年通りの開催ができないことへの残念な気持ちと参加会員への感謝の言葉が述べられました。その後、議長に選出された三宮慶邦フェローの議事進行により、第1号議案から第3号議案がそれぞれ満場一致にて承認され、無事終了いたしました。

総会に引き続き、第1回ICD特別賞の表彰式が行われ、各協賛企業より平井順フェロー、西野瑞穂フェロー、小室甲フェローに楯と副賞が贈呈されました。ま

た、ICDに対する長年の功績が認められ、国際本部から宮崎前会長にマスターフェローの称号が授与され、その授与式も同時に挙行されました。

認証式は2部形式で行うこととなり、昨年認証式が中止となった2020年度入会フェローも参加されました。第1部は威風堂々の流れる中、隅田会長からニューフェローに認証状、綱領、バッジが贈呈され、代表者の山崎長郎フェローが宣誓を行いました。

第2部では、千田彰国際会長からのZoomメッセージ、韓国部会会長からのビデオメッセージ、台湾部会会長よりZoomによる祝辞が述べられました。その後ニューフェロー挨拶と自己紹介があり、Zoom参加者の中にはアメリカのシアトルから時差を超えての参加もありました。

❶ 冬期学会

第52回冬期学会は2022年3月13日(日)に「今だから臨床で問われていることに答える」と題して開催されました。残念ながら今回も、COVID-19感染拡大防止のためライブ配信となりました。

講演Ⅰでは鈴木貴規フェロー(ニューヨーク大学歯学部歯周インプラント科臨床教授)から、「変わりゆく歯科医療とそうでないもの」と題し、「変わりゆく歯科治療」として最先端の歯科技術(デジタルデンティストリー等)を、またインプラント周囲組織の評価方法やインプラント周囲炎への対応方法等の“そうでないもの”をわかりやすく解説いただきました。講演Ⅱでは森永宏喜フェロー(森永歯科医院院長)から、「全ての病気は口の中から!クチの中から若返る!」と題して、アンチエイジング、オーソモレキュラー医学や、口腔内と全身の健康の関わりについて最新データを基に詳しく提示いただきました。今回の講演は臨床に直結する内容で、参加

された先生方の明日からの歯科診療に生かせる有意義な講演でした。

事業運営(冬期学会担当)委員会 委員長 小峰 太



講演終了後の集合写真

❷ 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申しています。本年は大岡洋常任理事、内田耕司理事、中村朋美委員長、和久本雅彦委員、酒井周一委員、麻生幸男委員、飯島美智子委員、岡田優一郎委員、照山裕子委員、阿部健一郎委員、北田真紀委員、原元信貴委員、小峰一雄理事(オブザーバー)の13名より構成しています。

現在は、ICD日本部会の社会的知名度を上げる目的と本会の社会奉仕活動活性化のため、ICDアワード及びICD特別賞を企画実施するための協議を重ね、第2回ICD特別賞表彰式(2022年6月)の準備をしています。また本年は、待望の第1回ICDアワード(学生対象)の表彰式(2022年3月)を開催しました。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

❸ 広報・編集委員会

当委員会は今村嘉宣常任理事、佐藤聡理事の下、国際歯科学士会日本部会雑誌の発刊、HP、Facebookの管理・運営を行なっています。オンラインで行っていた委員会が、数名の集合型とのハイブリッドになりました。後席が懐かしいですが、時間の節約と有意義な議論はできています。

7月には「雑誌第52巻1号」を発刊し、特別企画では、各分野で著名な8名にそれぞれのお立場から内容の濃い寄稿を頂きました。また、オンライン開催した第51回冬期学会の講演内容も収載しました。ICD創立100

周年記念号として第52巻2号を企画していたのですが、中止になったのが残念です。

2022年度の雑誌第53巻1号も新しい特別企画を開始し、新フェロー投稿をさらに充実させる予定です。HP、Facebookで積極的に情報発信を行っています。ぜひ閲覧・登録をお願いします。ご意見やアドバイスも大歓迎です。どうぞよろしくお願い致します。

広報・編集委員会 委員長 佐藤 裕二

❹ 国際交流委員会

昨年度に続き、コロナ禍により海外のセクションとの直接交流は出来ておりません。しかし委員会メンバーはこのような状況でも可能な交流を模索し、実践してきました。

昨年4月14日の第1回委員会(オンライン)を皮切りに、総会・認証式での韓国・台湾両部会長のビデオメッセージの放映、また両部会の総会・認証式での隅田会長の祝辞動画配信を目指し活動を続け、無事にこれらを

実現出来ました。また年末集会ではWebでの留学生発表も実施することが出来ました。

また今年1月より、国際本部作成の「オリエンテーション&リーダーシップマニュアル」抜粋版の翻訳を各委員が分担して取り組んでいます。これにはICDの歴史や活動の理念をはじめ、各フェローが理解しておいた

方が良い情報が盛り込まれており、会報誌第53巻1号に掲載予定ですので是非ご一読頂ければと思います。

来年度こそはリアル交流が再開されると信じて、しっかりと準備をしていく所存です。

国際交流委員会 委員長 森永 宏喜

● 財務委員会

財務委員会は、本部会の財政運営を担当する財務主事を支援する委員会です。言うまでもなく本部会の財政基盤は、フェロー一人ひとりの年度会費が原資となりますので、新フェローの入会と会費の徴収にかかっています。

足掛け3年目に突入するコロナ禍は、私たちの学会運営の在り方に大きな影響を与え、同時に財政運用面でもこれまでとは異なった対応が求められています。例えば、学会運営に必要な会議資料はこれまでの紙資料から電子ファイルに置き換わり、対面での集会は感

染対策による制限を受けてオンライン会議に換わり、交通費や会議室借用料等の支出額に変化が現れています。一方では、通信環境を整備する経費支出や会議に参加するノウハウの習得など、個人の負担増にも考慮しなければならない事態も忘れてはなりません。

本委員会は、学会運営に財政面から対応する新しい方策の必要性を痛感しています。

財務委員会 委員長 西田 紘一

● 会員支援委員会

本年度、会員支援委員会は志田常任理事、村岡理事のもと活動を行い、新フェロー及び既存会員のサポートを行いました。

一昨年度に引き続き本年度もコロナの影響により、菁々会、錦齢会の開催は中止となりましたが、総会・認証式はハイブリッド形式で開催され、厳重な感染対策管理のもと執り行うことができました。一昨年度認証式が中止となりましたため、隅田会長の顧慮もあり、今年度認証式は2020、2021年度のニューフェローが同時に認証される形となり、会場参加者24名、オンライン参加者15名にて開催致しました。会員支援委員を含め、すべてが初めての試みでしたため、行き届かない点は今後修正し、柔軟に対応、サポートできたらと考えております。

いま様々な社会の場においてレジリエンスという言葉がよく使われるようになりました。医療安全等の臨床では柔軟性や適応力と訳されています。これからもおそらくコロナの影響により、様々なことに制限がかかることとされます。その中でより柔軟性を高めて対応できるかが重要となって参ります。会員支援委員会でも臨機応変な対応ができるよう模索していきたいと考えております。

最後になりますが、引き続き会員の皆様には健康に充分ご留意の上お過ごしいただきますようお願い申し上げます。

会員支援委員会 委員長 住谷 要

● 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

この特別委員会は、2021年6月、隅田会長の発案で感染症対策特別委員会として招集されました。本委員会では当初より、国内外の研究論文等を収集し、特に感染経路について各論文を検証してきました。この感染症は空気感染する事が知られていますが、換気能力の十分な施設では空気感染の発生は確率が低く、主な感染経路は飛沫感染と結論づけるに至りました。これは、救急医療の現場で麻酔科医の感染例が極めて少ない事、世界的に歯科医療を介した感染例が少ない事、並びにコロナ重症者の死亡者解剖所見から唾液中に大量の新

型コロナウイルスが存在する事等によります。

2021年12月の年末集会は、政府の感染対策および帝国ホテルの感染対策基準に沿って開催し、本委員会作成の参加者健康チェックシートも活用して、感染者を出さずに行うことができました。尚、口腔をはじめ手指、衣服、金属、皮製品等に使用可能なMA-Tを応用したA2Careが、(株)ADI.Gのご厚意で参加者全員に配布、使用されたことを付け加えます。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 内田 耕司

社会貢献ができればと考えております。至らぬ点もございますが、諸先生方にご指導いただきながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。御指導・御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



高崎 智也 フェロー

- ①千田 彰、富士谷 盛興
- ②福岡県
- ③九州大学／マイクロスコープ臨床
- ④旅行、読書
- ⑤歯科医療を通じて、より多くの皆様に貢献できたらと思います。



竹島 明道 フェロー

- ①宮崎 隆、坂本 紗有見
- ②東京都
- ③東京歯科大学／一般歯科、インプラント、広範囲顎骨支持型補綴、歯の移植、歯内療法
- ④ロックフェスティバル、ホッピー、ライブ鑑賞、ボクシング
- ⑤宮崎隆先生、坂本紗有見先生にご推薦いただき、この度、入会させていただきました。歴史ある貴会の末席を汚させていただくことになりましたが、名だたる諸先輩方のお力添えをいただき、歯科医師としても一個人としても成長し、何らかの形で貢献できるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中原 維浩 フェロー

- ①松尾 通、坂本 紗有見
- ②東京都
- ③東京歯科大学／咬合、顎関節
- ④バスケットボール、歯ブラシ・歯磨き粉などの収集
- ⑤ICDには、時代を築いてきた諸先輩方がいらっしゃるのので、交流を深め、次世代のICD入会希望者へとバトンを引き継いでいきたいです。



林 誠 フェロー

- ①齋藤 毅、宮崎 真至
- ②東京都
- ③日本大学／歯科保存学
- ④スポーツ観戦
- ⑤今回は、ICD日本部会に入会させていただきました。ありがとうございます。日本の歯科医学および歯科医療の発展のために、微力ながらお手伝いできればと思います。よろしくお願い申し上げます。



三浦 みつ子 フェロー

- ①隅田 百登子、小林 菊生
- ②東京都
- ③日本歯科大学／小児歯科
- ④華道、俳画、書道
- ⑤各専門分野で活躍されている諸先生方と交流できることを嬉しく思っております。宜しく願い致します。



竜 立雄 フェロー

- ①坂本 紗有見、常盤 肇
- ②千葉県
- ③奥羽大学／歯科矯正学、矯正歯科
- ④旅行、スノーボード、サッカー、映画鑑賞
- ⑤このたびは、伝統と歴史あるICDに入会させていただき、大変光栄に存じます。2021年度ICD新フェローとして自己研鑽に努め、矯正歯科の臨床、研究を通じて、微力ではございますが、歯科医療の発展ならびに口腔からの健康増進に貢献していきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

◎ 第1回ICD特別賞 表彰式報告

2021年6月5日(土)第64回総会・認証式の中で、第1回ICD特別賞表彰式が開催されました。

この表彰制度は、前会長である宮崎隆先生の御尽力により発足した制度で、執行部、改革推進委員会並びにご協賛いただいた各企業の皆様と共に準備を進めてまいりました。コロナウイルス感染拡大により1年延期されましたが、発案から3年という長い時間の末、今回の表彰式が実現致しました。

ICD特別賞とは、海外での歯科医療に貢献した歯科医師を表彰するもので、国際歯科学士会に相応しい表彰制度であり、第1回は平井順フェロー(ICD日本部会と在日米軍との技術交流等)、西野瑞穂フェロー(モンゴルでの公衆衛生的活動)、小室甲マスター(ICDミャンマー支部発足に関わる支援)の御三方が受賞されました。

歯科界をリードする功績により受賞された3名の先生方に、改めて敬意を表したいと思います。また、この

たびご協賛いただいた企業(ジーシー、デンツプライシロナ、モリタ)の皆様にも、心より御礼申し上げます。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美



受賞フェロー(前列)と協賛企業(後列)
※小室マスターの代理として隅田会長が登壇されました

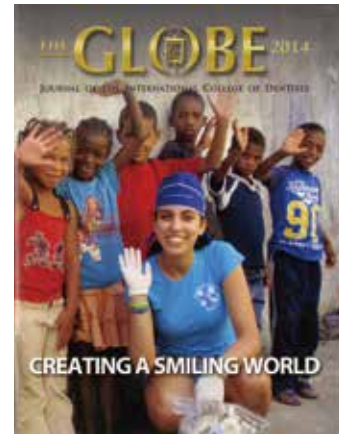
刊行物／ホームページ・Facebookのご案内

会誌



国際歯科学士会 日本部会雑誌

本部発行雑誌



The Globe

ホームページ



ICD日本部会ホームページ
<https://www.icd-japan.gr.jp>

Facebook



ICD日本部会 Facebook